

## 特集

## チャレンジ大阪 6 「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」

～ 次世代イノベーションを拓く機能性材料 ～

## 〈交流会あいさつ〉

一般社団法人 生産技術振興協会  
理事長 伊東 一良 氏



皆様、本日は多数の方々にお集まりいただき、ありがとうございます。ここ数日の出来事なのですが、フォルクス・ワーゲン社の不祥事が報道されました。人は見かけによらぬもの、と言われますが、世界の優良企業があの様なことをやったということで、本日の平均株価は大幅に下がりました。トヨタの株価までがどうして下がったのか、その辺りはよく分かりません。しばらく前にこれと同じような話題が日本でもありました。東芝の粉飾決算の問題です。これも日本の優良企業のことでした。これらの共通点を考えてみると、額に汗をして新しいことを追及し開発する、価値を創造する中で儲けるという企業精神の基本が忘れられ、プログラムや会計帳簿をいじっただけという姿勢が見られます。何が大事なのかといえ、ビジネスの世界では新しい価値を見出し、それによって市場をつくりだし、皆が幸せになるということが基本中の基本であります。立派な企業がそのことを忘れていたことは、大

変具合が悪いことだと思います。

本日は大阪市立工業研究所による「チャレンジ大阪6」を開催いたしました。生産技術振興協会では「フレンドシップサロン」を開催しておりますが、これは大阪大学の先生方の巨大な知識を皆様方と共有するとともに、新しいイノベーションにつなげるためのネットワークづくりであり、異業種交流を含めて先生方だけでなく企業の方同士の連携によって、新しいビジネスにつなげようという取り組みであります。そのためには、やはり新しい人と人が知り合いになり、情報交換をする場から新しい価値が生まれ、ビジネスが始まるのが大事だと、私は痛感しております。交流会のこの場には、本日まで講演していただいた先生方がおられますので、質問を含めて交流を深めていただきたいと思います。そしてネットワークができれば、新しいことが始まると思っております。本日はどうもありがとうございます。

